

第1章 防護柵への付着金属片調査委員会について

今般、全国の道路の防護柵で多数の付着金属片が発見され、防護柵に付着した金属片により歩行者や自転車利用者が負傷した事故の存在も明らかになった。これに対し、国土交通省では、学識経験者からなる「防護柵への付着金属片調査委員会」を設置し、付着金属片の調査分析及び原因の究明に当たった。

1. 設立趣旨

今般、埼玉県行田市においてガードレールの付着金属片によって自転車で帰宅中の中学生がけがをした事故をきっかけとし、国土交通省をはじめとした道路管理者と警察が協力して緊急点検を実施したところ、全国の都道府県において車両用防護柵に付着する多数の金属片が発見された。

金属片については撤去することにより道路利用者の安全の確保に努めているところであるが、付着原因については自動車がその一因であることは確認されているものの未だ全体を特定できない状況にある。

このような状況を踏まえ、原因を究明し、今後の対策について調査・検討することを目的に、専門家による「防護柵への付着金属片調査委員会」を設置する。

2. 委員名簿

(委員長)

元田 良孝 岩手県立大学 総合政策学部 教授

(副委員長)

赤羽 弘和 千葉工業大学 工学部 建築都市環境学科 教授

飯田 久雄 鋼製防護柵協会 技術委員会 委員長

伊藤 勝利 (社)日本自動車工業会 技術統括部 部長

大西 博文 国土技術政策総合研究所 道路研究部 部長

住田 俊介 (財)交通事故総合分析センター
つくば交通事故調査事務所長 兼 常務理事

山岡 成行 (株)自研センター 取締役 (委員：五十音順)

3 . 委員会開催状況

6月8日(水)

第1回委員会開催

- ・ 緊急点検結果について
- ・ 分析について
- ・ サンプルデータ(大宮国道事務所管内)の分析結果について
- ・ 原因分析の進め方について
- ・ 委員会の検討スケジュールについて

6月21日(火)

第2回委員会開催

- ・ 現地調査
- ・ 金属片の付着状況の調査結果について
- ・ 大宮国道事務所管内の付着原因の究明について
- ・ 全国の付着原因の究明について
- ・ 調査の進め方について
- ・ 今後のスケジュールについて

7月29日(金)

第3回委員会開催

- ・ 付着金属片の原因究明
- ・ 今後の対応
- ・ 調査とりまとめ